

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓太	電話番号	0852-22-6776
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	芸術文化センター事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	文化芸術に対する県民の関心が高まる。	
事業概要	多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 芸術文化センターの入館者	目標値		330,000.0	330,000.0	330,000.0	330,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 入館者数	実績値	393,066.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	471,685	421,606
うち一般財源 (千円)	221,635	219,648

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成17年の開館以来、美術館と劇場の複合施設として、美術・音楽・舞台芸術など多様な文化芸術の鑑賞と創造の機会を提供してきた。指定管理者制度を導入し、指定管理者とともに魅力的な企画や広報、利用促進に努めている。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 開館以来2番目に多いセンター入館者 (393,066人) を達成した。
- グラントワ開館10周年記念式典が10月10日、11日に開催され、グラントワ弦楽合奏団やグラントワ・ユースコール、県出身アーティスト等が参加し、石見地域の文化の発信に貢献した。
- 10周年記念企画展は、「森英恵展」「澄川喜一展」「仏像展」といったグラントワ・益田とも関係の深い企画展が実施された。指定管理者と県部門とが密接な連携・協力の下、広報・営業に取り組み、「森英恵展」「澄川喜一展」は入場者目標を上回り、「仏像展」は97%の入場者目標を達成した。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 修繕箇所が少しずつ増え、修繕規模も大きくなっている。また、中庭タイルなど毎年修繕が必要な箇所も発生するなど、施設、設備の改修等が課題となっている。

②困っている状況が発生している「原因」

- 開館から10年が経過し、施設、設備が老朽化している。

③原因を解消するための「課題」

- 施設、設備の点検等を強化し、早期の修繕箇所の把握と、計画的な修繕を実施する必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 施設、設備の点検等を強化し、早期の修繕箇所の把握と、計画的な修繕が実施できるよう指定管理者と県との連携を強化する。
- 特に、中庭タイルの修繕など根本的な解決が必要な箇所に関しては、対応策を関係各課、指定管理者と協議し必要な措置を行う。

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)